

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・自然（音）
- ・自然（園庭/コンポスト・科学）

<テーマの設定理由>（テーマに関する 子どもの興味関心、園の特色 など）

- ・いろいろな音に触れ体全体で表現することを楽しむ。自然の音を感じいろいろな音色に興味を持ち音を奏でたり、自然物（木製）から作った楽器に触れ温かみのある音を聴き乳児クラスならではの演奏を楽しむ。
- ・コンポストで堆肥作りをし土の大切さを学び五感を使って体験しながら環境や食べ物の大切さを知る。コンポストで作っている堆肥の観察。顕微鏡にて土を見ることで発見を楽しむ。自然の不思議を体験する。

2. 探究活動の実践

		対象クラス・対象人数							
実施日		0歳児 クラス (人)	1歳児 クラス (人)	2歳児 クラス (人)	3歳児 クラス (人)	4歳児 クラス (人)	5歳児 クラス (人)	地域 子ども (人)	地域 大人 (人)
①	1月14日						18		
②	1月20日		14					5	
③									
④									
⑤									

活動内容
1歳児：手作り楽器・木製楽器を用意すると「どんぐり〜」と言いみんなが拾ったどんぐりだよと伝えるととても嬉しそうで早くやりたい！とわくわくしている様子がある。そのほかに、木製の楽器（太鼓やギロなど）を用意するといろいろな楽器を手にして音を鳴らしていた。歌を歌うと歌に合わせて音を鳴らしたり、一緒に歌っては長い時間楽しむ姿が見られた。 5歳児：静電気の不思議さに気づき実験を楽しみながら現象を楽しむ。ビニール袋や発泡スチロール、ストロー、カップ、下敷きなどを用意し、子どもたちの考えをもとにヒントを出しながら会話を楽しみ実験していく。「すごい！」「なんでくっつくの？」など不思議な事を質問しながら取り組んでいた。離れていく力と引き寄せてる力があるんだよ等教えてもらい、何度も実験を楽しんでいた。その後、コンポストで作ったたい肥を畑にまく。最後の活動となるが子どもたち全員で「おいしくなーれ」と野菜に声掛けしながら堆肥を蒔く。

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等を記載ください。
（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、教諭との関わり等）

活動におけるチェックリスト	
グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促す。	○
活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録する。	○
乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行う。	○
記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返る。	○
幼稚園・保育所等の各施設の教諭数値・保育者所同士や保護者等に、探究活動の内容を共有する。	○
次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考える。	

活動の様子が分かる写真 2 枚 以上 を貼付 してください。
 (HP など で 公 開 する 可 能 性 が あ り ま す の で 、 公 開 可 能 な も の を 使 用 く だ さ い 。)



3. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>
1歳児：手作りのどんぐりマラカスは大人気ですぐに飽きてしまうのではないかと考えていたが、まったく飽きることなく音を鳴らし楽しんでいた。また、一人だけではなく友だちと一緒に歌を歌いながら合奏するなど保育者とだけでなく友だちと楽しめていることに成長を感じた。
5歳児：1年を通して行ってきた堆肥作りも終盤を迎え寒さでなかなか生長しづらかったにんじんに堆肥を与えどこまで大きくなるかというところも今後収穫までの楽しみとなった。科学タイムでは今までの経験から、「こうなるんじゃない?」「〇〇かも」などたくさんの言葉が出ていたり実際に早く「やってみたい!」と不思議な現象にわくわくしながら取り組む姿がたくさん見られ子どもたちの興味関心、想像力や思考力が確実に育ったと感じた。

4. 今月の購入実績

注文日	項目	費用（税込）	購入方法
		0	

記入日：	2026/2/5
記入者：	平山清美